

N agasaki

1985

4

通巻70号

Y oung generation

A ssociation

だより

発行

社団法人  
長崎青年協会  
会長  
太田 勝良  
〒850  
長崎市魚の町7-7  
TEL (21) 1625

編集

広報委員会  
委員長  
濱口 康幸

憲章

我々は会員の団結と相互扶助の精神の基に、自己の建設と会員の親睦を図り、もって地域社会の発展に寄与する事を目的とする。

三月例会

◎太田会長挨拶

「初心に帰って」



皆様今晚は、今日は16年度の最後の例会でございます。私の挨拶もやっと慣れた頃に最後かと思うと何か寂しい思い致します。社団法人長崎青年協会の第一歩としての年でありましたが、全て当初の立案どおりに事が運べました事もひとえに会員皆様の協力又、指導があったればこそと感謝致しております。新旧理事の引き継ぎも、新人研修も無事終りました。研修の時には、平野・浜崎両先輩からの御講演をいただき、私共理事も新人に

日時昭和60年3月22日  
(月)PM 6時30分  
場所ニュー長崎ホテル

かえった気持ちで聞かせていただきました。先輩の御言葉にもありましたとおり、やはり青年協会というものは参加して意義があるものであって、私の年間テーマでありました。「参加して和が出来、行動が出来、又行動によって和が出来る。」そういう事ではないかと思えます。

今日お見えになつていられる方も、新人研修の時に先輩が言われたように初心に戻つて色々な業務に参加して欲しいと思えます。今日は最後の例会で終了後「卒業生を送る夕べ」という事になっております。一年間いろいろな事がありました。青年協会というのは、すべて前向きでございます。反省があつてはじめて明日への第一歩があるのです。私も又、初心にかえつてがんばる所存でございます。御協力ありがとうございます。これをもちまして最後の御挨拶にかえさせていただきます。

◎講師

「私の40年を振り返って」

福祉教育委員長  
佐藤 哲康君



第一部 昭和41年11月、名古屋の中堅クラスの建設会社が倒産しました。歳の瀬も迫った、当時22歳の私は困ってしまいました。丁度、その時、同じ会社に長崎出身の「永田さん」と言う方がいらつしやいました。その方は長崎で建設会社を経営しているおじのところへ戻る

と云い、「現場監督も不足しているので、良かったら一緒に長崎に行こう」と誘われ、迷うことなく返事をし、3日後の夜9時に名古屋の駅で会うことになりました。切符は彼が用意すると言うことでしたので、その夜身仕度をしておきました。当時、私共が俗に言

う現場監督とは、1つの現場にて、3人の現場技術者が派遣され、工事完成迄、会社の事務所ではなく、その都度工事現場に建てられるプレハブの現場事務所に勤める訳です。名古屋駅で彼に会い夜行列車に乗りました。寝台車に案内され、そこに休むわけですが、眠ることは出来ませんでした。汽車は走っています。朝になつても汽車は走っています。彼が来て「もうすぐ関門トンネル」と言われました。私はびっくりし、そこで初めて彼に「長崎は何処か」と尋ねました。私の思っていた長崎は岡山か広島のあたりだとばかり想像してました。まさか、長崎が九州だとは知りませんでした。私は福岡県の生まれです。長崎の方に福岡とだけ言つても、東北の福島県であり、こちらから行つて東京、その先が茨城県、その先が福島と言う方はいらつしやいません。恐らく、秋田・青森の辺と言います。当時、私の九州とは鹿児島・宮崎を想い浮べてました。まして、22才の私でし

たから……。そんな訳で汽車はまだ走り続けています。車掌が「おはようございます」と挨拶をし寝台をたたみに来ました。窓ぎわに座り、外の風景を眺めていると汽車はカーブに差し掛かりました。自分の乗っているさくら号の列車の長いのもびつくりしました。列車の名前さくら号も後で分かりました。汽車は奇麗な海岸線を走っています。今想えばあの時の有明海、そして大村湾の素晴らしい光景は頭の隅に焼き付いています。「次は終点長崎・長崎」と言う車掌の案内に、もうこの先は行止まりであることを自分一人確認しました。冬というのに太陽の光がやたらまぶしく照りつけます。ああここが彼の言う長崎かと思い、その足で出島の会社へ行き、さつそく何やら汚なくごちゃごちゃしたうどんを出されました。名古屋で食べていた名物の「きしめん」とは大違いです。まあ、食べればまずいものでもなく、おいしく頂きました。社長が長崎名物の「ちゃんぽん」と教えてくれ

ました。昼食を済ませさつそく現場へ案内されました。その時乗った日野コンテツサーも記憶にあります。現場は滑石団地の造成工事でした。今では想像も出来ませんが、当時は田・畑があり、中央部にどこからでも見える大神宮の森がありました。私どもは都会の中

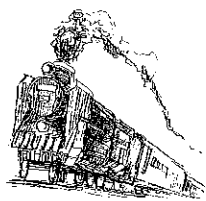
第2部

私は今まで自分の好きなように生きて来ました。そうした事がやはり一番両親に迷惑をかけたと思う。なぜなら、こんなに遠い長崎あたりまで来てしまった事です。でもお金に困った事もなく、お金で迷惑を掛けた事もな



講演中の佐藤君

には仕事はありません。いつも街外れの旧舎です。だからこれだけは驚ろきませんでした。そこでは3人の技術者と共に造成工事に明け暮れました。



いとと思う。割と恵まれていたのかも知れませんが。父親から、お金を借りた事も2・3度あったかも知れない。しかし、それを返済しても「お前にやったのだから」と返してくれる父母をもった事も幸せである。昨年、父は治すことの出来ない肺ガンになり他界しました。亡くなる1年前、医者

から「永くもてても1年程度です」と言い渡されました。私は3回帰郷し、父を見舞いしました。お盆には家族を連れて行き、1週間おりました。死に目には会わせてもらえませんでした。いつも父は母に言っていたそうです。「哲康は遠いのだから俺が死んでから連絡しろ」と。最後まで私を気づかってくれた父。何もこれと言ったお返しすら出来なかった。しかし、父は生前母と一緒に2年に1度は必ず私のところへ来てくれました。独身のころは何も出来なかったが結婚してからは出来るだけごちそうをし、観光地も案内した。長崎に来てくれるよう飛行機の切符も往復買って送ったが、来た時必ず私の子供に小使いとして、その分以上置いて行ってくれた。

怒り、罵りました。その時、家内が一言の不平・不満も言わず奇麗に掃除をしてくれた事、私は感謝しています。両親はいつも電話で、又手紙で私の家内に「哲康をよろしくお願ひします」と申します。誰一人知らない土地で生活している私を案じての事です。父と母から見た私はいつになっても子供でしかありません。好き勝手に生きる私を批判しませんでした。「お前が九州に行ったので気がるに九州に旅行出来る。お前がいなかったら九州になんか行けたかどうか」と。しかし、ただ一度だけ「長崎は遠いべ」と私一人に呟いた事、この耳がおぼえています。私はその時心の中で「すまない」と思いました。

第3部

私は官庁に居たわけでもなく、又、大手の建設会社に居た訳でもありません。長崎での顔は全然ありません。しかし、東北人特有の根性・ねばり度うにか務まっています。私の根性は自分で言うのもおかしいが雑草以上と思う。この辺で止めようか、このぐらいで良かさと言うあいまいな事が出来ません。やるからには徹底してやろうと思えます。それが私に与えられた宿命であり、そうする事によって信用が得られると思う。

いつも自分に言い聞かせることです。私には今の仕事、これしか出来ない。物を作ることも、そして又、物を儲けるも出来ない。出来るのは今の仕事・土木設計しか出来ない。好く人が社員を入れて建築設計をすればとか、土地に関係あるんだがら不動産もすればとか色々です。

父の選んでくれたこの道を大切に、これからは頑張ります。そして、忘れることなく、父の選んでくれたこの道に感謝します。

|   |   |   |  |   |
|---|---|---|--|---|
| <p>●ダイワツディーゼ(株)<br/>九州・関門地区総代理店</p> <p><b>長崎マリンサービス(株)</b></p> <p>旭町4番17号<br/>TEL 62-8866</p> <p>会員名 徳本知弘</p> | <p>オフィス家具・インテリア製品<br/>OA機器</p> <p><b>富士ビジネスセンター株式会社</b></p> <p>梁川町7番25号<br/>TEL 62-1780</p> <p>会員名 馬場正勝</p> | <p>大協石油(株)特約店</p> <p><b>西部石油株式会社</b></p> <p>新地町5番15号<br/>TEL(21)-5411</p> <p>会員名 江村大洋</p> | <p>電化で結ぶ信頼の輪<br/>三菱電機ストア・ソニー特約店<br/>ナショナル・日立・他</p> <p>電化ショップ <b>松電</b></p> <p>時津町浜田郷 696<br/>TEL 095882(2)0266</p> <p>会員名 松本義輝</p> | <p></p> <p>中華菜館 <b>福寿</b></p> <p>長崎/新地町<br/>TEL(21)-3032</p> <p>会員名 黄醒博</p> |
|---|---|---|--|---|

◎ 講師

事業委員会

徳本 知行君

「私のセールス  
ポリシー」



私は三菱ふそうに勤めて16年になる訳ですが、この青年協会にも16年居り、同じ年数ということになりました。そこで、この16年間で感じた営業のポリシーについてお話ししたいと思えます。

私は他人から「営業マンとはどうあるべきか」と聞かれた時「営業

マンとは売りたい時売りたいお客様に、売りたい値段で売る事だ」と、それが本来の営業マンの姿だ、といつも答えます。そういう事が出来るという事は如何に御客様と親しい間柄にないといけないかという事だろうと私は思うんです。

そこで御客様と親しくなるまでの進級5段階というものを御紹介したいと思います。

先ず物が売れる様になつたら幼稚園の子供だ。そして、その代金が回収出来る様になつたら小学生。返り注文が取れる様になつたら中学生。そして、ほんとうに君から買って良かったと喜んでもらえ

る様になつたら、やっ和高校生じゃなからうか。そして最後に、今申し上げた「親しい人間関係」が出来る様になつたら大学生だ。と、私はランク付けをして

いる訳です。

親しい間柄と言えは同じこの青年協会内の人も親しい間柄の人がいらつしやる訳ですが、親しい間柄と言えなうっていいと思うんです。例えばゴルフ仲間、釣り仲間、そういう間柄でもいいんじゃないかと思えます。そういう間柄を作る事がポイントではなからうかと思えます。それではどうしたら親しい間柄になれるかといま

すと、それはお客様の身になつて考える事なんだと思えます。どうやったらお客様に喜んでいただけるか、いろんな質問に対する対応はどうしたらいいのかという気がばり、心使いが大事です。その中から自から対応策が生まれるものなんです。

それからもう一つ大事な事は、どんなに小さな事でも約束を守るという事です。特に時間に対する約束、私は今日6時前に来ましたけれども例会委員長はおそらく心配したかも知れませんが、私だつたら「来るかな?何時頃来るかな?」と心配しながら来たと思えます。早く来たなら、そ

れだけ早く問題が解決する訳です。ですから時間の約束が私が一番大事な事だと常に思っています。またこの時間の使い方も重要だと思えます。勝利者は常に時間を有効に使っています。「仕事というものは追いなさい!追われてするものではない!」とよく言われますけれど、やはり先手先手と働きかけていくもので受身でするものではないと思えます。

すばやくやらなければならぬもう一つに報告と連絡があります。私はこれでもかこれでもかと思う程に報告します。

話は変わりますが私もやはり年間の目標、売り上げ計画を立てます。その一つ方法を紹介しますと、先ず総需要を調べます。そしてその中からマーケットシェアを何%取りたいか、そういう事で先ず計算が出て来る訳ですけど私は40%を目標にしています。目標というものは何が何でも達成するという執念がなければ達成出来ません。「こんなものでいいだろう」とか思つたらだめなんです。先ずは情熱と熱気と迫力がなければ達成出来ない。失敗はおそれずに一歩踏み出す明るい材料が出

て来る訳です。計画・実行・反省をおこたる事なく社会は自分をきたえてくれる道場だと思つて仕事をすれば非常に楽だと思えます。不必要な恥はかく必要はない。自分が売ろうと思つている商品に対する知識の足りないというの論外です。お客様と会う時には7つ道具というものは必ず持つていくと思つて下さい。こう聞かれたらこう答えようと思つていくだろうと思つて物を売ろうと思つたら自分を売らなければならぬ。その前に面接を売らなければいけません。面接を売つて自分売つて品物を売る。明るい笑顔をもつて面会すれば限りない可能性が出てくる訳です。誠意と感謝をモットウに私は販売活動に専念しております。



講演中の徳本君



手作りの店

**(有)白浜商会**

弁天町1-2  
TEL(61)-2828

会員名 白 浜 政 文

手作り人形、エプロン、革製品

**ピエロ**

なめし18銀行ななめ前  
TEL(57)-6471

会員名 佐 藤 哲 康

クレサンベール藤岡  
●車検●保険

**(株)藤岡石油店**

浦上給油所

TEL(44)-7138

会員名 鳥 井 正 臣

新築・増改築・設計施工

**大正海上火災  
保険(株)代理店**

岩見町 213-13  
TEL(62)-1040

会員名 金 子 寿 英

新築・増改築・設計施工

**昭和住宅**

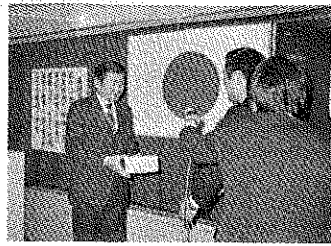
田上バス停前

TEL(23)-8777

会員名 三 浦 清 博



◎卒業生を送る夕べ  
同日今年度卒業される福祉教育委員長、佐藤哲康君に記念品を贈り送別会を開催致しました。  
今後ますますの御健勝並びに御活躍を祈念申し上げます。



最後に佐藤君より青年協会での6年間の思い出、並びに会員に対する謝辞がありました。



彼の誠実なる人生感にはただく頭が下がる思いでした。今後共御指導方よろしくお願ひ申し上げます。

◎皆勤賞表彰

- 総務委員会  
松本 義輝君  
例会委員会  
野中 孝君  
馬場 正勝君  
事業委員会  
田代 博昭君  
会員交流委員会  
田川 孝之君

- 理事  
太田 勝良君  
勝本 博文君  
大石 巖君  
総務委員長  
森山 茂君



◎誕生者祝

- 3月5日 高橋誠勇君  
3月9日 黄 醒博君  
3月16日 三浦清博君  
3月20日 福島 誠君  
3月24日 椎木亮一君  
3月24日 久保征幸君  
3月27日 宝蔵寺 利夫君

◎よろこび

- ◎一年間御苦勞様でした  
太田会長他現理事 全員

- ◎卒業おめでとう  
佐藤 哲康君

- ◎新人研修会御苦勞様  
白浜 征文君

- ◎経営講演会御盛況  
宮崎 博之君

- ◎長女佳子ちゃん誕生  
栗原 耕一君  
◎KTNテレビ出演  
御苦勞様  
松尾 豊明君

- ◎最後の委員会日を  
間違ひ連日出席  
野中 孝君

- ◎来年度の新理事  
吉野会長他全員

◎御結婚おめでとう

- 大平 国泰君  
張 仁春君



- ◎ゴルフコンペ優勝  
井川 憲太郎君

- ◎ゴルフコンペ準優勝  
海野 博君

- ◎ゴルフコンペ初参加  
(スコア一四七)  
中尾 英徳君

- ◎委員会無遅刻、無欠席(一回のみ開催)  
白浜 政文君  
椎木 亮一君

- ◎新人研修会後の懇親会で失態を見せ大ハッスル  
岩満 克弥君

- ◎同じく、はやし役  
金子 寿英君  
松尾 豊明君  
勝本 博文君

「一年間を振り返って」

例会委員長  
松尾 豊明



協会の主要行事の一つである例会を一年間担当させて頂き、大変感謝致しております。どうか一年を終える事が出来たのも委員会、理事諸兄の御協力のお陰と有難く思っております。  
運営等につきまして反省する事が多いのですが、振り返りますと、私なりに充実した一年間の協会活動でありました。  
「よろこび」をはじめ、皆様の御協力を頂き本当に有難うございました。

※一年間の講師

- 5月 「長崎中心部の再開筈」  
長崎県渡辺企画理事  
○6月 「長崎県の経済事業」  
長崎県落合経済部長  
○7月 「企業の経営理念」  
せにや本店藤本社長  
○9月 「食生活と健康」  
プラザ会館牟田社長  
○10月 「銀行との交際術」  
十八銀行吉井課長  
○2月 「男性の身だしなみ」  
栄光堂アラミス化粧品、山下様  
○3月 「私の40年を振り返って」  
長崎青年協会 佐藤 哲康君  
「私のセールのポリシー」  
長崎青年協会 徳本 知行君



|  |  |   |   |  |
|--|--|---|---|--|
| <p>システムキッチン・収納家具<br/>サウナ・暖房・店舗デザイン<br/>カーテン・クロス・ジュタン<br/>新しいライフスタイルの提案</p> <p>株式会社 <b>アルス</b></p> <p>松山町3-77<br/>TEL(45)-7178</p> <p>会員名 松尾 豊明</p> | <p>和洋酒・食料品</p> <p><b>森山酒店</b></p> <p>築町3番8号<br/>TEL(22)-4772・(22)-0892</p> <p>会員名 森山 茂</p> | <p>華燭の殿堂</p> <p>中国料理 <b>京華園</b></p> <p>新地町9番7号<br/>TEL(21)-1507</p> <p>会員名 劉 濟才</p> | <p>喫茶・スナック</p> <p><b>喫茶</b></p> <p>大黒町8-5<br/>TEL(23)-9701</p> <p>会員名 中尾 英徳</p> | <p>カステラ・ワッフル</p> <p><b>稲垣屋</b></p> <p>浜町店24-2277<br/>観光通り店24-1369<br/>浦上店45-9646<br/>道ノ尾店56-8432<br/>滑石店56-9500<br/>〒850 長崎市万屋町13-1<br/>TEL(24)-1313<br/>会員名 小松 清彦</p> |
|--|--|---|---|--|



「二十一世紀へはば たこう国際青年年」



「国際青年年」。実にスケールの大きい言葉である。

横文字で言うところ「I・Y・Y」即ちインターナショナル・ユース・イヤーの事である。

私が長崎県のI・Y・Y実行委員会へ初めて出席したのが昨年の十月の事であった。

長崎市内の二十三団体の若者が集い、新しい「国際青年年」にむけての計画がスタートした。

同じ若者でも色々な職場や団体からの代表のほとぼしるエネルギーを感じたものである。何回か出席して行く内に大体の骨組が出来上がった。先ず大きな年間計画として、(一)二十一世紀の青年の提言書作成、(二)アフリカ救済キャンペーン、(三)I・Y・Y記念公園建設、の三つが提案された。

総務担当副会長 森山茂

そしていよいよよくつかのイベント計画案が出来上がった。その計画案を紹介しておきたい。

①県北及び県南方面、対馬等へのキャラバン隊派遣(四、五月)

②I・Y・Y青年フォーラム

③若者が造るラジオ二十四時間(NBCラジオ、%、%)

④留学生ホームステイ(夏休み期間中)

⑤長崎県青年サミット(十月末〜十一月上旬)

⑥I・Y・Y長崎国際フェスティバル(十一月十七日)

⑦クロージング(三月)

以上の様な計画に基づいてこの一年間、活動して行く予定である。先日、各団体の担当が

決まり、私は「I・Y・Yながさき国際フェスティバル」の担当に決定した。

そのフェスティバルについて簡単に説明しておきたい。フェスティバルの趣旨は、「国際青年年」を記念して、県下の青年が一堂に集い、各種の催しを通じて、国際青年年の趣旨、目的等について地域住民特に青年層の理解と関心を深める事である。

長崎市民会館などその周辺において、セミナー、文化祭、演芸、展示、バザー、学習会、実演、スポーツ会等の催し物を各青年又は青年団体より一般公募し開催するものである。

この祭りを通じて少しでも「国際青年年」の意識が高まれば幸いである。

これから一年間、市のI・Y・Yの青年協会代表の松本直行君とも協力してI・Y・Y活動に参加して行きたいと思うのである。

以上のような計画に基づいてこの一年間、活動して行く予定である。先日、各団体の担当が

◎新人コーナー

「入会一年目に あたつて」

総務委員会 桑田 敬悟



昭和二十九年生まれ、現在三〇才。三〇才、この人生の節目となる年、自分の生き方を確立しなければならぬ年を迎えるに当たって、悩みました。

自分はこのままで良いのか、この大事を時何かやる事があるのではないかと。そんな折も折、この青年協会への入会をする事になりました。とかく会社友人と言う枠の中に埋れて、だんだんと柔軟さが、欠けてきつた自分の大脳に良いスパイスとなる会ではないだろうかと思ひ、入会となりました。

早いもので入会して一年が経とうとしてい人前で話す事の難か

しさも改めて感じ、講師、協会の方々の意見がだんだんと自分の栄養になっていくのが、実感としてわかりつつあります。

今後積極的の会に参加し、行動する事が自分を研いでくれるものと思ひます。

全体においても、個々が研かれ、魅力的になる事が、増々この協会を発展させるものと思ひ、これからは会員とのコミュニケーションを大切に、会員の相を一層広げ深めたいと思ひます。

「入会一年目に あたつて」 事業委員会 中谷 寛

私が、青年協会に入会させて頂いてから、まだ五ヶ月にしかありません。例会、委員会では出席するだけで、実際に自分自身で行動したことはありません。

活動内容などその精神と云うのは、入会時に説明を受け、又三月の新人研修セミナーにより、青年協会に対しより深い理解と愛情を持つことができました。

今後一日も早く自己を研ぎ、協会を通じて地域社会の発展の為に奉仕出来る様になりたいと思ひます。

私の入会の大きな理由は「一人でも多くの人と知り合い、付合つて行きたい」と言う事でしたが、これは入会により満足出来たと思ひます。

入会により70人以上の先輩方と知り合いになり、それも単なる知り合いでなく、同じ目的の為に行動する仲間となる事が出来ました。

仲間とは言いながら、その関係はまだ細い線です。会員の方々の親睦を図り、この線をより太く、より強くして行きたいと思ひます。最後に、まだ若輩未熟者の私ですが、例会、委員会には出来るだけ出席し、意見等も積極的に発言し、間違いも多々あるでしょうが、とにかく積極的に参加して行きたいと思ひます。

|   |   |  |  |  |
|---|---|--|--|--|
| <p><b>東京海上</b></p> <p>自動車・火災<br/>その他損害保険</p> <p>TEL(23)-7151</p> <p>会員名 小川 一朗</p> | <p>花火・玩具・プラモデル<br/>三・五月人形</p> <p><b>長崎宝屋</b></p> <p>長崎市江戸町4-8<br/>TEL(0958)22-4890</p> <p>会員名 高橋 誠勇</p> | <p>総合設計産業<br/>一級建築士事務所</p> <p><b>不動技研工業(株)</b></p> <p>水の浦町78<br/>TEL(60)-7940</p> <p>会員名 吉野 信義</p> | <p>各種種類製造販売</p> <p><b>百武製麺所</b></p> <p>籠町5番15号<br/>TEL(23)-2693</p> <p>会員名 勝本 博文</p> | <p>和洋酒・瓶・缶詰</p> <p><b>太田酒店</b></p> <p>鍛冶屋町6番3号<br/>TEL(23)-3433・(22)-3403</p> <p>会員名 太田 勝良</p> |
|---|---|--|--|--|

# YOURヘストライフ

## ボケ防止法

脳細胞は人間が生まれ落ちた時から、毎日確実に減り続けている。事は承知の事と思う。長崎でも最近、老人の痴呆、いわゆるボケが社会問題化してきているが、今回はこのボケについて話してみたい。一般に四十を過ぎてからという事であるが、新しい事を覚えられなくなったり、数字の丸暗記が苦手になり細かい計算を間違ったりする。こうした物忘れだけでなく、手足の運動能力が衰え、排尿障害や、視覚・聴覚の衰えが出てくる、これが細胞減少による最初のサインである。このボケを防ぐにはどうすればよいか。適度な運動をすること。もつとも効果があつて簡単なのは歩く事で降圧作用と同時に動脈硬化の予防にもなるという。又手足の運動は脳を刺激するので、一日に何度かや



つてみよう。両手を強く握りしめる、手首や足をゆっくり回したり、ブラブラさせる。青竹踏みなどは理にかなっている。読書もいいが書く事はさらに効果的なので、ごく簡単な日記をつけておけば四十代から実行したいものだ。

- 9月 例会 全体研修
- 10月 〃みんなでもりあげよう長崎くんち〃 例会
- 11月 臨時総会 文化財大清掃 ソフトボール 大会
- 12月 忘年懇親会 もちつき
- 1月 臨時総会 新年懇親会
- 2月 例会 新人研修セミナー
- 3月 例会 卒業生を送る夕べ

### ◎60年度年間予定表

- 4月 定時総会
- 5月 例会
- 6月 厄入懇親会 家族懇親会
- 7月 例会 経営セミナー
- 8月 例会 市民大清掃

### 「入会一年目にあたって」

広報委員会

新井 正実

私が長崎青年協会の存在を知ったのは、私が59年4月に現在の設計事務所を開業した時、知人の弁護士に紹介された。もつと勉強する為にも、又友人をより多く作る為にも入会したらどうか、と言う事がきっかけでした。

それで現会員の熊沢さんを紹介され、協会の活動内容等の説明を聞き是非入会してみたいとなりました。私は高校迄は山口県におりました。ので長崎での友人と言うても限られた人しかおりません。長崎青年協会に入会して、先ずは協会内に多くの友人を作つたりと思つております。そして、その友人達と話し合い討論を交わすことにより、人間的にもつと勉強して長崎と言う、地域社会に何らかの貢献が出来ればと考えております。

## 協会の場へ

飽の浦バス停前  
TEL(61)-9840

会員名 久保 征 幸

## 丸野組運輸部

長崎市平間町921-8  
☎(0958) 39-2131  
出張所 長崎市梁川町1-5  
☎(0958) 61-2620

会員名 野上 林八郎

明日の環境づくり

## 海野清掃産業

TEL(26)-4745

会員名 海野 博

味で勝負

## 黒瀬蒲鉾店

千円以上配達致します

賑町3-8  
TEL(22)-8643

会員名 黒瀬 勝 幸

各種帽子販売



## 田代帽子店

長崎市銅座町(銀鍋隣り)  
☎長崎(0958) 22-0816

会員名 田代 博 昭

あなたの町のソニーです

SONYホームストア

## 北高電機(株)

長崎市大橋町6-15  
TEL(44)-1583  
(岩屋橋電停そば)  
ナショナル・日立・東芝  
三洋・他取扱店

会員名 栗原 耕 一



富士マグネ長崎販売

城栄町百本ビル  
㈱松善商会内TEL(48)-2180

会員名 松田 哲 夫

## (有)松浦印刷

八幡町6番21号  
TEL(23)-2575

会員名 松浦 文 寛

松下電工代理店

## (株)富士商会

五島町5-22  
TEL(24)-3741

会員名 木藤 俊 郎

真珠・魚類養殖業  
タイ・ハマチ・ヒラメ・フグ

## 西村真珠養殖場

長崎事務所 大黒町14番5号  
TEL 22-3231(代) 千850

会員名 西村 真 一

## (株)マネージメント パートナー

桜町5-3  
大同生命第2ビル内  
TEL(24)-4377

会員名 宮崎 博 幸

## 井川硝子店

今博多町39番地  
TEL(25)-2523

会員名 井川 憲 太郎

石碑・墓地工事・石材彫刻

## のなか石材

長崎市翔屋町5-25  
(寺町通り・三宝寺前)  
会員名 埜中 孝  
TEL 24-6571

宝石・メガネ・時計

## 松尾宝飾店

千歳町3番6号  
TEL(44)-2047

会員名 松尾 浩



会員名 熊 沢 悟

全国宝石学協会会員

## ジュエリー彩

伊勢町3番10号  
TEL(23)-1953

会員名 大石 巖

電話・放送・テレビ共聴・設計施工

## 大通株式会社

浜平町518番地  
TEL(23)-1855

会員名 濱口 康 幸